

清新中学校だより 清風

令和4年7月1日
第197号

好ましい人間関係を形成するには

校長 江戸谷 智章

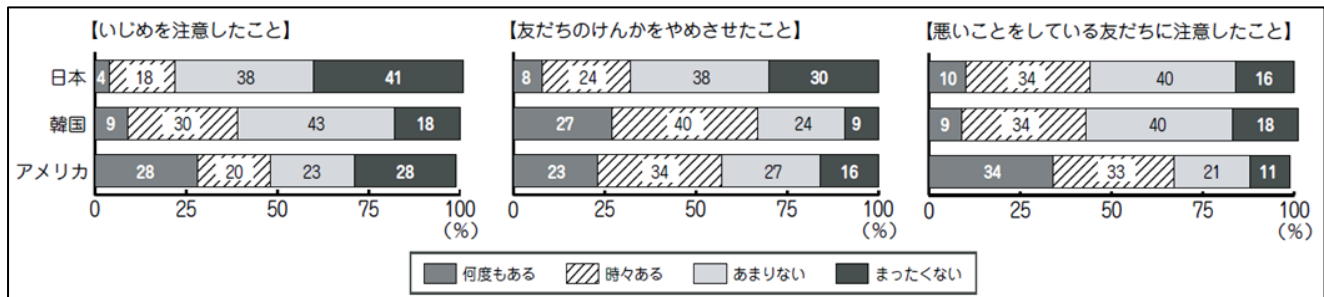
先日ニュースを見ていたら、「Z世代の友達作り」と題する調査結果が目にとまりました（注1）。報道によるとこの調査は、あるIT企業が10歳から24歳の男女を対象に行ったもので、「あなたにとって友達とは」、また、「友達をつくる時に何を重要視するか」等、この世代の人たちの友達関係について分析されていました。



とりわけ私が興味をもった調査の一つに、「仲の良い友達とはどこで出会ったか」についての分析がありました。回答者の多くは、クラス、部活動、習い事など、直接的な出会いが友達作りのきっかけとなっていたと答えていたものの、これに次いで、SNSを通して友達となったというケースも増加傾向にありました。まさにデジタル世代の若者という意味でも納得するものがありました。

しかしその一方で、「SNSでできた友達と実際に会ったことがあるか」の質問には、約90%が「会ったことがない」と回答していました。これは言い方を替えれば、今の若者達は、顔を合わせたことのない人とでも、ある一定の居心地のよさ等が保たれてさえいれば「良い友達」とまで言えてしまうんだと少し驚きを覚えました。

これとは別にこの友達関係について、以前、文部科学省が小・中・高生を対象に調査をしたことがあったのでその一部を紹介します（注2）。調査の内容は、友達関係の中での道徳観・正義感を国別に比較したもので、以下の通り、友達という関係性の中にあっても、自分とは直接関係のないところで生じた問題には、日本の子どもたちはあまり積極的に関わろうとはしないことが見て取れます。



現在、学校教育では、今の子どもたちがこれからの時代を希望をもって自立的に自分の未来を切り拓いていける資質や能力を育むために、「キャリア教育」が推進されています。キャリア教育の詳細についてはまたの機会としますが、子どもたちが、単に職業選択にとどまらず、生涯にわたって社会的・職業的自立を成し遂げていくためには、その主要な力の一つとして、「人間関係形成・社会形成能力」の育成が重要視されています。



そもそも人間関係や社会を形成していくための能力とはどういったことをいうのでしょうか。善悪の判断は別としても、一つの出来事には、それぞれの人の立場からの見え方・考え方が異なるものです。しかしその一方で、社会という枠組みの中で、人と人とが互いに尊重し合って生きていくためには、自分の思うようにならないことに、一々不機嫌になっているわけにはいきません。○か×か、100か0かということではなく、これからは様々な意見や考えを調整したり、合意を形成したりしながら新たな価値を創り出そうとする力が求められているように思うのです。しかしこれが大人でも難しいのです。ついぞ自分を振り返ってみても、上手くいかないことがあると、時に相手の考え方を強引に変えようと力んでしまうことが恥ずかしながらあつたりします。しかしそういうときに限って、上手くいかないのも常なのです。

今の子どもたちの世代は、自らの将来を考える上での「理想とする大人のモデル」が見つけづらくなっているとも言われています。だとするならば、たとえ面倒なことであっても、時に腹が立つようなことであっても、冷静さを失わずに、事の解決に向けて丁寧に人と関わり続けている姿を大人達が示していかなければならないと自分を振り返っている私です。

（注1）「Z世代の友達作りに関する調査」（バイドゥ株式会社）から一部引用

（注2）「子どもの体験活動等に関する国際比較調査」（文部科学省）から一部引用

日々の授業を大切にしよう

教科指導・学習指導長 山口 憂晟

新年度が始まり、3ヶ月が経ちましたがこの3ヶ月の間でみなさんはどれくらいの授業を受けたと思いますか？数えてみたところ、これまで約300時間の授業をみなさんは受けています。どの教科でもいいので印象に残っている授業を思い返してください。仲間と協力して取り組んだ・先生の話がおもしろかった・難しい問題が解けた・頑張って発表したなどあるかと思います。

では次に、その授業を通してみなさんができるようになったことはなんですか。

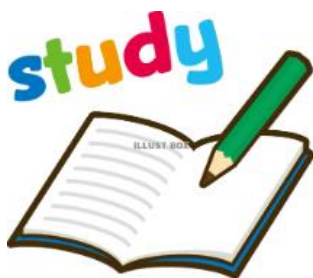
難しい計算ができるようになった・英語で会話ができるようになった・楽器が演奏できるようになったなどの教科的な側面や、人前で話すことができるようになった・自分一人では解けない問題も協力すれば解けることを知ったなどの教科的とは異なった側面もあると思います。もちろんこれ以外にもたくさんあるはずです。



私は、授業を通してたくさんのことを学べると思っています。そしてそれらは、みなさんの将来を支える土台となります。ぜひ、苦手な教科や単元だからといって消極的に授業を受けるのではなくたくさんのことを学びに積極的に臨んでください。そしてその学びを自分の生活へと生かしてください。

まだ、1学期も3週間あります。授業を大切にし、「頑張って授業に臨んだ！」と思える状態で夏休みを迎えられたらいいですね。

最後に、校長先生が昨年に全校生徒へ向けて伝えた言葉の中に「無駄な授業は1時間もない」というものがあります。私達もみなさんが授業に臨みやすくできるよう努力していきます。授業を無駄にすることがないように共に頑張っていきましょう。



7・8月の主な日程

※下記の日程につきましては変更されることもあります。ご了承ください。

令和4年7月 ※月・木は原則諸活動なし

- 1日(金) 3年生進路学習保護者会
- 8日(金) 生徒会中央議会
- 11日(月) 国際級おはなし会
- 13日(水) 1年生学期末OT
学期末三者面談①
- 14日(木) 2年生学期末OT
学期末三者面談②
- 15日(金) 3年生学期末OT
学期末三者面談③
- 18日(月) 海の日
- 19日(火) 学期末三者面談④



20日(水) 1学期終業式
諸活動なし

21日(木) 夏季休業～8月24日(水)

8月

10日(水) 学校閉庁日～16日(火)

25日(木) 2学期始業式

26日(金) 午前4時間・昼食なし

29日(月) 午前4時間・昼食なし
小中一貫の日

30日(火) 午前4時間・昼食なし 諸活動なし

31日(水) 学習診断試験(全学年) 弁当持参

※デリバリー給食は9月1日から開始とります

